9

神戸学院大学 2020 年7月 男女共同参画ニュース 第 22 号

第2回「森わさ賞」候補者を募集します~ぜひご応募・ご推薦ください~



昨年度に続き、校祖森わさ先生の志を継承し、本学の建学の精神「真理愛好・個性尊重」に基づいて、研究・教育・社会における活動において優れた功績をあげた女性の教職員・卒業生・修了生を顕彰する第2回「森わさ賞」の候補者を募集します。詳細は、男女共同参画推進室HPをご覧ください。自薦・他薦の別、年齢は問いません。ぜひご応募・ご推薦ください。(写真は、森わさ先生)

- ◆対象:女性の本学専任教職員もしくは卒業生・修了生で、研究・教育・社 会における活動のいずれかにおける功績が認められる方
- ◆〆切:2020年11月27日(金)15:00
- ◆申し込み:下記より推薦書をダウンロードのうえ、男女共同参画推進室 までお送りください

https://www.kobegakuin.ac.jp/information/kyodo_sankaku/torikumi/moriwasa_prize.html

教職員対象男女共同参画講演会を開催しま す~8月24日(月)、参加者募集~

現在策定中の国の第5次男女共同参画基本計画 策定専門調査会会長でもある佐藤博樹・中央大学 戦略経営研究科教授を迎えて、男女共同参画やワークライフバランスの現在を概説しつつ、DVD と講演で学びます。Zoom参加、教室参加の希望を明記して男女共同参画推進室にお申し込みください。教室参加の場合は、マスク着用、離れて着席。

- 日時:8月24日(月)15:15~17:15
- ・場所: Zoom (講師は Zoom 参加) または KPC1 D101 講 義室、KAC 第 3 会議室、第 45 会議室
- ・テーマ: 仕事と介護の両立支援~ワークライフ バランスの新しい課題~

お父ちゃんの子育てばなし

連載 第7回

3歳の息子は、毎日驚くほど元気が有り余っている。朝起きて一言目が、「一緒に遊ぼ!」。少しでも携帯やテレビをみると、「一緒に遊ぼ!」。ご飯を作っているときも、「一緒に遊ぼ!」。

元気すぎるので、休日は外につれていく。1キロ離れた公園でも、元気に歩いていく。到着するや否や、砂場、滑り台、サッカーなど、公園をフルに使って遊んでいる。2時間ほど遊び、クタクタな親父をよそに息子は疲れたそぶりなく元気に帰る。

家に着くと、汗だくなのですぐにお風呂に入る。お風呂でしか遊べないおもちゃがあるため、「一緒に遊ぼ!」がまた始まる。寝る前も、「図鑑みよ!絵本読もうよ!」など意欲は続く。

そのとまらない欲求に感動すら覚える。そして、本を 読んでいると、電池が切れたかのように突如眠りにつ く。

起きている時は、常にフル稼働。そんな元気過ぎる息子に、頑張る意欲をもらっている。

(キャリア支援グループ 森田孝平)

神戸学院大学 男女共同参画推進室

住 所 神戸市中央区港島1丁目1番地3 電 話 078-974-1551 (代表) 内線84453 078-571-0927 (直通)

メール danjokyodo@j. kobegakuin. ac. jp

2020 年度版「神戸学院大学 介護支援リーフレット」を配布します

本学の介護支援制度や、国や地域の支援の最 新情報を分かりやすい一覧にしています。介護

をされている方も今は そうでない方も、ぜひ ご覧ください。部数を 余分に必要の際もご連 絡ください。



男女共同参画ライブラリの「郵送貸し出しサービス」をスタートしました

ライブラリの蔵書を郵送で貸し出しします。1回につき3冊まで、貸し出し送料はこちらで負担いたします。蔵書一覧は、右のQR

コードよりご覧ください。返却期限 も9月末までですので、余裕をもっ て借りられます。詳細はこちら↓



<https://www.kobegakuin.ac.jp/information/kyodo
sankaku/torikumi/library.html>

在宅勤務の経験から

約2か月間、在宅勤務をさせていただきました。 保育所が閉所になった我が家の兄弟(4歳と2歳) はやんちゃ盛りで、はじめは仕事と育児のペースが つかめず、早々に心が折れそうになりました(笑)。

仕事に集中したいがために、おもちゃで気を引いてみたり、とにかく体を使う遊びに誘い、たっぷりお昼寝をしてもらおうと試みたり…。策を講じてはみるもののやはり子どものペースになり、仕事を思い通りに進められないこともありました。時には、なかなか遊んであげられないことから、辛い思いをさせているのではないかと不安になることもありました。そんな時は仕事の手をとめて、子どもとふれあう時間を作ったりもしました。

仕事と育児の両立は大変なこともありましたが、子 どもと過ごす時間が増えたことで幸せを感じることの 方が多かったように思います。サポートしていただい たみなさんと家族には感謝の気持ちでいっぱいで す。 (社会連携グループ 杢田奈美)